

# 令和6年度(2024年度)いじめ問題等対策連絡協議会 概要

<第1回> 令和6年7月29日(月) 13:30~15:30

## 「いじめ見逃しゼロ」に向けた学校・家庭・地域の連携

### 【説明】

#### ○管内の現状と課題

- ・ 檜山管内で、いじめの積極認知が進んでいる
- ・ 法に基づく、いじめの定義の認識が不十分

【講話】 北海道教育大学釧路校  
副学長 玉井 康之 氏

#### ○学校・家庭・地域の連携

- ・ 地域が学校を支援することは、子どもたちの学校生活が豊かさにつながる
- ・ 子どもの様子で気になることがあれば、学校や関係機関に積極的に伝えることで対応の遅れをとらない

### 【協議】

#### ○実態把握と共有

- ・ 町の防災無線を活用し、地域のみんなで子どもたちを見守る依頼を行っている
- ・ 法に基づくいじめの定義を、広報紙等を活用して学校外に周知していきたい

## つながり合うことが大切

児童生徒の様子で気になることは学校へ伝える

<第2回> 令和7年2月18日(火) 13:00~15:00

## 「つながり」を大切にした不登校支援

### 【説明】

#### ○不登校支援

- ・ 人数を減らすことが目的ではなく、苦しんでいる子どもたちや家族に寄り添い、みんなが笑顔になれること

### 【実践発表】

#### ○乙部町立乙部中学校

教諭 西山 公也 氏

- ・ 校内に「サポート教室」を開設
- ・ 学級担任、養護教諭、町助産師の連携による道徳の実践

#### ○乙部町教育委員会

主査 中野 浩季 氏

- ・ 「不登校支援連絡協議会」を通じて関係機関が連携し、「定期的な情報共有」と「学校への支援体制の整備」を実施

### 【協議】

#### ○私たちができること

- ・ 不登校に対するマイナスイメージを払拭できるよう、丁寧に保護者や地域に伝えていく
- ・ 情報共有はできているが、具体的な支援方策や関係機関の連携に改善の余地

諸課題の複雑化に対応するための  
一層の連携が必要

<次年度の方向性>

- ・ 不登校に対する 行動指針の明確化
- ・ フロー図等を活用した 学校内外の連携の見える化